

天然痘(痘瘡)は、長い間人類を悩ましてきた恐怖の感染症ですが、地球上からこれを追い出すことに成功しました。ポリオ(小児まひ)の根絶ももう一步。麻疹(はしか)も排除しつつあり、胎児に異常をきたすことのある風疹もその目標に入れようとしています。一方、エボラやMERS、ジカウイルスなどの感染症が地球全体の問題として浮かび上がってきました。人類はどのようにして感染症を克服したか、しようとしているか、そして新たな感染症とはどのようなものか、「人類は感染症を克服できるか」として今回のフォーラムのプログラムを組んでみました。このフォーラムに参加した皆さまは、感染症のエキスパートになれるかもしれません。



人類は 感染症を 克服できるか

司会 岡部 信彦(川崎市健康安全研究所所長、第6回日本微生物学連盟フォーラム世話人代表)
柳 雄介(九州大学大学院医学研究院ウイルス学教授、日本微生物学連盟理事長)

日時:2016年4月23日(土)
13:30~17:00

場所:東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE
(東京都目黒区駒場3-8-1、井の頭線、駒場東大前東大入口より徒歩5分)
主催:日本微生物学連盟

プログラム

13:30~13:40 開会挨拶

岡部 信彦(川崎市健康安全研究所所長、第6回日本微生物学連盟フォーラム世話人代表)

13:40~14:10 根絶された天然痘(痘瘡)

国際医療福祉大学塩谷病院 教授 倉田 毅

14:10~14:40 ポリオ(小児まひ)は根絶できるか

国立国際医療研究センター国際医療協力局 国際情報専門職 蜂矢 正彦

14:40~15:10 麻疹(はしか)の排除はどこまで進んだか

国立感染症研究所ウイルス第三部 部長 竹田 誠

15:10~15:20 休憩

15:20~15:50 風疹・先天性風疹症候群発生の抑え込みは可能か

国立感染症研究所感染症疫学センター第三室 室長 多屋 馨子

15:50~16:20 新たな感染症に備える:ジカウイルス感染症等の蚊媒介性ウイルス感染症を例として

国立感染症研究所 所長 倉根 一郎

16:20~16:50 総合討論

16:50~17:00 閉会挨拶

柳 雄介(九州大学大学院医学研究院ウイルス学教授、日本微生物学連盟理事長)

17:00~

終了後、会場入口付近のスペースにて質問・意見交換コーナーを設置します。
コーヒー・紅茶・ソフトドリンクなど(無料)をご用意しておりますので、お気軽にどうぞ。

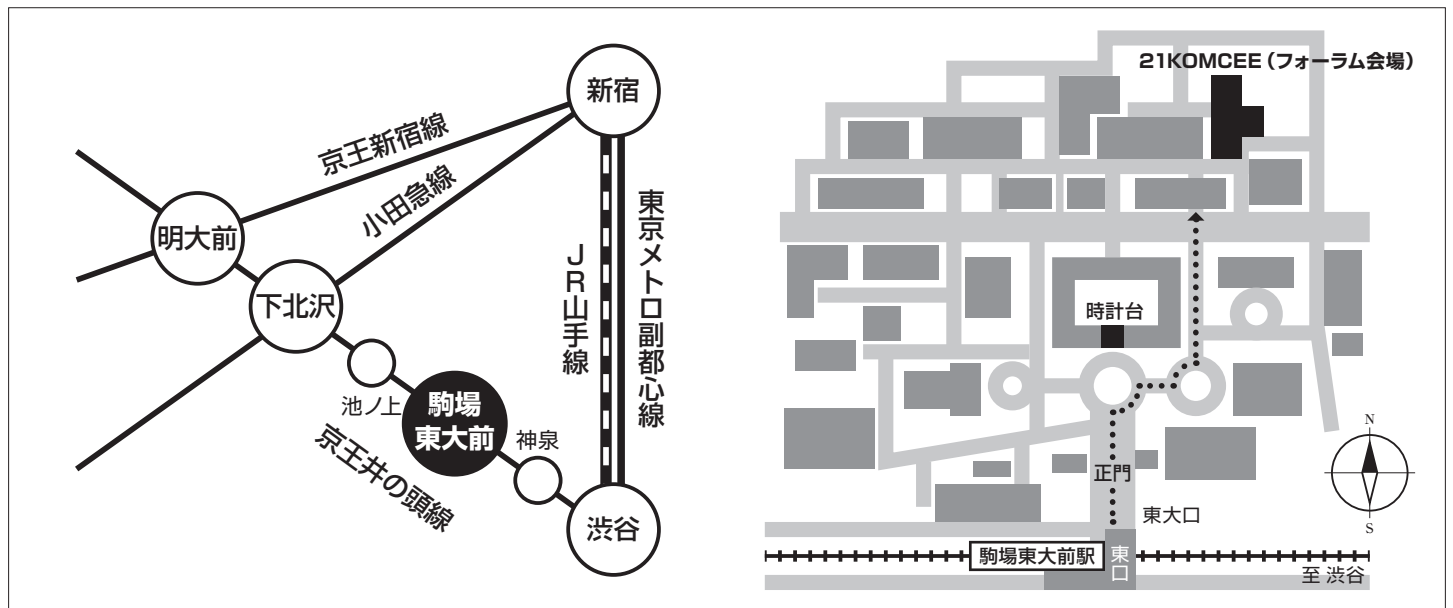
人類は感染症を克服できるか

参加要領

フォーラム参加ご希望の方は、申込用紙に必要事項をご記入の上、下記申込先までFAXでお送りください。E-mailの場合は、申込書の内容をメール本文に記載の上、お申し込みください。先着200名まで参加可能です。

お申込先

日本微生物学連盟事務局 あて
〒112-0002 東京都文京区小石川4-13-18
株式会社微生物科学機構内
<http://fmsj.umin.jp/index.html>
FAX 03-6231-4035
E-mail: fmsj-office@umin.ac.jp



----- 切り取り線 -----

第6回日本微生物学連盟フォーラム《参加申込書》

<input type="checkbox"/>	フォーラムに参加します
ご芳名	
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代以上
所属・連絡先	
TEL	
E-mail	

※ □にチェックを入れ、必要事項をご記入ください。
※ 個人情報は日本微生物学連盟からのご案内以外には使用しません。